



大掃除で「火災の元」を取り除きましょう！

早いもので令和2年もあと1カ月で終わろうとしています。新しい年を迎えるにあたり「大掃除」をすると思いますが、その際にもうひと頑張りして「火災の元」も一緒に掃除してしまいましょう。

深川地区消防組合管内の火災発生件数は（10月1日現在）17件で、うち4件は電気火災が原因となっていることから、今回は年末大掃除で防げる電気火災対策についてご紹介いたします。

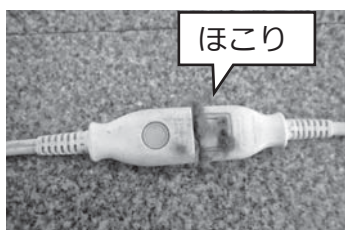
コンセント周辺や電化製品裏の掃除で安心

大掃除は、普段のお掃除で手の行き届かない部分を行います。その時に差したままになりがちなテレビ、冷蔵庫、洗濯機などの電化製品のプラグを一度抜いて、プラグの刃の部分のほこりやほこりの溜まりやすい場所を掃除し、トラッキング現象による火災を防ぎましょう。併せて電気配線も一緒に確認してみましょう。

■トラッキング現象とは

コンセントとプラグの隙間にほこりが溜まり、そのほこりが空気中の湿気を吸収することで漏電し発火する現象です。

■トラッキング現象を起こさないための掃除の仕方



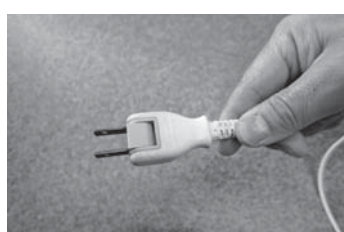
①コンセントとプラグ間にほこりが溜まる。



②プラグを抜いて確認する。



③乾いた布でほこりを取る。



④掃除完了！

■電気配線の確認

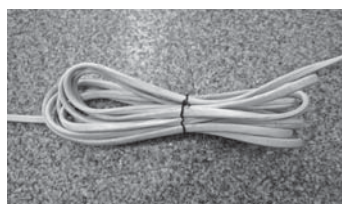
・電気コードを踏んでいませんか？

電気コードが重たい家具の下敷きになったまま使用すると、断線、加熱し、発火する可能性があります。



・配線を束にして使用してませんか？

配線を束ねた部分が高熱を持ち、曲げた部分が発火する可能性があります。



大切な家族や財産を守るため、住宅用火災警報器を設置しましょう。

沼田町
防火標語

『声かけよう みんなで確認 防火の輪』

